

ピックアップ事例



さどひまわりネット（平成25年稼働）

NPO法人佐渡地域医療連携推進協議会（新潟県佐渡市）

☎ 0259-63-6376

📄 [公式ホームページ](#)

※平成29年2月時点

（全体概要は令和2年2月1日時点の情報を掲載）

全体概要

- 概要
- 特徴
- 成功要因
- ネットワーク構築時の苦勞
- 構築する方へのメッセージ

計画Step

- 1. 地域課題、要求事項の抽出
- 2. 必要性の検討
- 3. 事業概要の決定
- 4. 事業運営主体の組織の設置
- 5. 個人情報保護方針などの作成
- 6. ガイドライン・標準化規格などの確認
- 7. システム化方針決定
- 8. 事業計画・収支計画の立案

構築Step

- 1. 工程管理
- 2. 仕様書作成・調達
- 3. 要件定義・設計
- 4. 構築
- 5. テスト

運用Step

- 1. 運用に向けた文書作成
- 2. システム運用保守体制決定

更改Step

1. 医療情報連携ネットワークの改善事項検討

（1）現在の課題と改善の方向性

■ 運用費の確保

参加機関が負担する利用料で運用する自立運用であるが、比較的高い利用料のため負担感が大きい。なお、平成26年には佐渡市からは上限額を決めた赤字補填を受けた。

解決の方向性として、新たな収入源と運用費の削減に取り組む。

さどひまわりネットは独自開発であり、著作権は佐渡地域医療連携推進協議会が所有している。かかわったコンサルタント・開発ベンダがさどひまわりネットで得られたノウハウ・知見を利用する場合はロイヤルティフィーを払う契約としている。※この契約方式はある大学の電子カルテ機能への応用やある地域への連携システム導入など複数の事例がある。

将来的には個人情報保護に対する情勢を見ながら収集データの二次利用に向けた情報提供も検討していきたい。

また、データセンタを複数地域で共有することで運用コストの低減を図る方針でシステムを更新する計画を進めている。

■ 介護機能の強化

連携情報の収集は、自動収集を基本としているが、介護については手動のままである。今後は普及が進んでいる介護ICTシステムとの連携も進めたい。

■ アクセスログの取得

現在は総ログイン数しか把握できないため、施設別、機能別にアクセスログを取得し、利用状況を把握できるようにしたい。

■ 二次利用対応

二次利用の要望に対応できるデータ提供・分析機能を実装したいと考えている。

■ 地域外の医療機関との連携、他の医療情報連携ネットワークとの相互連携

- 3. 参加機関の募集・説明・契約
- 4. 設備工事・導入
- 5. 参加患者募集
- 6. 評価・課題整理

更改Step

- 1. 改善事項検討

高次医療を要する患者の搬送先である新潟市内の医療機関の参画を図りたい。また、他地域の連携システムとの相互連携を進め、全国的な連携システム構築の一助としたい。

(2) システム更新に向けた準備状況（財源、積立など）

システム更新に向けた積立はできていない。さどひまわりネットをモデルにしたパッケージを作成、他地域に展開しようとしているベンダの協力により、ほぼ実費に近い形で更新する予定である。

- > 全体概要
- > 計画Step
- > 構築Step
- > 運用Step
- > 更改Step

< ピックアップ事例一覧へ戻る

< TOPへ戻る

ページの先頭へ戻る 

> 医療情報連携ネットワークはなぜ必要？

- > 出発点は地域医療を良くしたいという思い
- > 医療情報連携ネットワークの導入効果
- > 利用者の声（導入効果）

> 医療情報連携ネットワークをどう作る？

- > 医療情報連携ネットワークの構築手順
- > 実施のポイント
- > 利用者の声（苦労した点、成功要因）
- > ガイドライン、書式例など

> 医療情報連携ネットワークの具体例を見る

> 医療情報連携ネットワークとは

- > データで見る
- > ピックアップ事例
- > 事例を探す

> 構築手順

- > 構築手順について
- > Step1：計画
- > Step2：構築
- > Step3：運用
- > Step4：更改

> FAQ

- > 用語集
- > お役立ち情報
- > リンク集
- > 資料ダウンロード